



就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	すずき りん	性別	生年月日・年齢	
氏名	鈴木 凜	男	2002年12月13日	
競技名／種別・種目	陸上競技・やり投		23 歳	
出身地	山梨県甲府市			
現住所	福岡県北九州市			
所属先	九州共立大学			
練習場所	九州共立大学 陸上競技場			

【選手プロフィール】			
■学歴・職歴			
年	月	学歴・職歴	
2021	3	山梨学院高等学校 卒業	
2021	4	九州共立大学 スポーツ学部スポーツ学科 入学	
2025	3	九州共立大学 スポーツ学部スポーツ学科 卒業	
2025	4	九州共立大学 大学院 スポーツ学研究科 入学	
2027	3	九州共立大学 大学院 スポーツ学研究科 修了見込み	

■免許・資格	
普通自動車第一種運転免許	

■国際大会の主な戦績			
年	月	大会名	戦績
2023	8	FISU ワールドユニバーシティゲームズ(中国/成都)	4位
2023	10	木浦アジア投擲選手権(韓国/木浦)	2位
2025	7	FISU ワールドユニバーシティゲームズ(ドイツ/ラインルール)	10位
2026	9	第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)	代表内定

■国内大会の主な戦績			
年	月	大会名	戦績
2022	9	第91回日本学生陸上競技対抗選手権大会	優勝
2023	6	第107回日本陸上競技選手権大会	4位
2023	9	第92回日本学生陸上競技対抗選手権大会	優勝
2025	6	第94回日本学生陸上競技対抗選手権大会	優勝

■自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

私の強みは、課題を多角的に捉え、仮説・検証を通じて成功に導く探究力です。私は9年間、陸上競技のやり投に取り組み、大学在籍時に世界大会4位、日本インカレ3度優勝という結果を残しました。しかし大学入学当初は、体格や筋力で周りの選手との差を大きく感じ、同じような練習方法では成長できないのではないかという課題に直面しました。

そこで私は、パワーで追いつくための筋カトレーニングとは別のアプローチとして、「槍がどのように飛ぶのか」「何が飛距離を決めているのか」を要素ごとに分解して考え、自身の長所である肩関節や胸郭の柔軟性に着目しました。インターネットや論文、映像を用いて投擲動作を分析し、実践と修正を繰り返しながら技術の改善を積み重ねました。その結果、柔軟性を最大限に活かした独自の投擲フォームを確立し、自己記録の更新や世界大会入賞を達成することができました。

現在は大学院で、プライオボールを用いたトレーニングがリリースパラメータや投擲距離に与える効果を、実験とデータ解析によって検証しています。感覚のみに頼らず、条件を揃えた上で「仮説設定・計測・解析・検証」のサイクルを作り、再現性のある知見としてまとめることを意識しています。

大学4年時には陸上競技部男子主将も務め、部内での課題に対しても常に「なぜそうなったのか」「なぜそうならなかったのか」を明確にし、改善につなげてきました。貴社において、これまでの経験を活かし、課題を多角的に捉え、継続的な改善を通じて貢献するとともに、現在の目標であるロサンゼルスオリンピック入賞に向け、更なる競技力向上にも励んでいきたいと考えています。

就職希望条件	
①職種・仕事内容	これまでの経験を活かし、どのような職種・仕事内容でも精一杯努めさせていただきます。
②勤務地	九州
③勤務日数・時間帯	週3~5日、午前中の中のみの半日勤務を希望します。遠征や合宿、練習時間を考慮していただけると幸いです。